



新春のご挨拶

社会福祉法人 福智町社会福祉協議会

会長 白石 勝彦

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、福智町社会福祉協議会の運営並びに福祉事業の推進におきまして、町民各位・行政・議会・関係機関団体等の多くの方々の方ならぬご協力とご理解を賜り、心より感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

早いもので、旧3町の社会福祉協議会が合併し9年になるうとしています。その間、社会保障に関わる制度は大きく変わってきています。障害者総合支援法が施行されると、今年4月には介護保険法が改正され、生活困窮者自立支援法も施行されます。制度改正が相次ぐ中、地域の福祉課題も多様化し複雑化するとともに、高齢化率も福智町では28%を超え、今後さらに高齢化が進む中で多くの課題が山積みされています。このような中、地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会の役割はますます重要性を帯びてきています。そのことをしっかりと胸に刻み「安全で安心して暮らせる地域づくり」に取り組んでまいります。

その具体的な対応として、福智町ではより地域に密着した活動を迅速に効率よく展開するために福智町地域包括支援センターを中核として、中学校区単位でサテライト（福祉の推進拠点）を設置し、様々な課題に取り組んでいく体制を検討しています。

社会福祉協議会としても地域包括支援センター及びサテライトと協働して、福智町の「地域包括ケアの推進」と「地域のコミュニティづくり」を積極的に支援・推進してまいります。社会福祉協議会がその役割を果たすためには、もう一度社会福祉の原点に帰り、そして新たな将来像を描くことが重要であり、その実現に向けた取り組みをおこなわなければなりません。これまでの地域福祉活動の実践の中で培われた経験を生かして、専門性とフットワークで地域の様々な社会資源を結び付け、「安全で安心して暮らせる地域づくり」のために「地域の福祉力」を高めていくための支援をおこなってまいります。

これから多くの福祉課題が地域で顕在化してくる中で、福祉に対する町民の負託にこたえるため、社会福祉協議会はこれからも地域に軸足を置き、地域住民と「汗をかき」、「知恵を絞り」、「ともに語り合い」、「共に学ぶ姿勢」を持ちながら、役職員一丸となって地域福祉の推進に取り組んでまいります。

また、「安全で安心して暮らせる地域づくり」の実現には、住民の方々や行政・議会・関係機関団体のご理解とご協力なくしては実現不可能と申しても過言ではございません。今後も役職員一同、心をひとつにして鋭意努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶にかえさせていただきます。